

1人1台端末環境を基盤とした授業改善

玉野市立荘内中学校2年

2023.12.12
岡山県教育委員会
教育情報化推進室

「学習の手引」の共有が個別最適な学び（複線型の授業）のスタート

前号に引き続き、玉野市立荘内中学校における授業改善の取組を紹介し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指し、ブラッシュアップされた授業の様子を紹介します。

2年数学「図形の性質と証明」（11月）

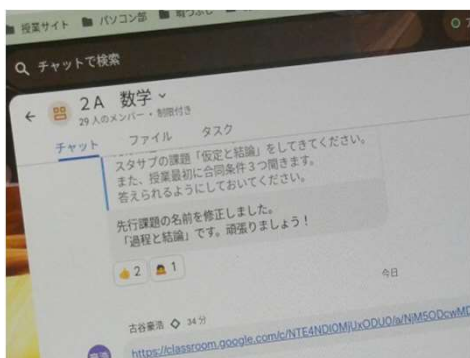
① 「学習の手引」の共有

Googleスプレッドシートを使用して、単元計画、各時間の目標、評価基準が事前に共有されています。9月からの大きな変更ポイントは、「S・A・B」と評価基準を明示していることです。生徒は学習の見通しをもち、何をを目指すかを主体的に考え、向上目標を設定することにつながります。

授業目標 11月14日	証明とその仕組みがわかる	証明とその仕組みがわかる
評価基準	S:合同になるかA・Bを元に、クラスメイトに説明できる。 A:仮定から結論を示すために自分で条件を見出すことができる。 B:仮定と結論を見分けることができる。	S:合同になるかA・Bを元に、クラスメイトに説明できる。 A:仮定から結論を示すために自分で条件を見出すことができる。 B:仮定と結論を見分けることができる。
自分の目標	A	A
自分の達成度	S	B
振り返り	③は最初難しかったけど、分解して考えるとわかった。②を説明してみると、どんな言葉を使えば相手に分かるか、伝え方を考えていると自分の理解が深まった。重なっている辺や角を説明するときは「共通な〇」ということを覚える。図に書き込むと分かりやすい。三角形の合同条件を3つ覚えていないと証明の問題は難しそうだった。	仮定と結論の見分け方がわかるようになったけど、①～③を解くときは、見出しがわからなかったけど友達に教えてもらうことに理解をして、わかるようになった。そして、周りの人達と協力して解くことができた。目標には達成できなかったけど家で復習して自分で条件を見つけ出せるようになりたい。

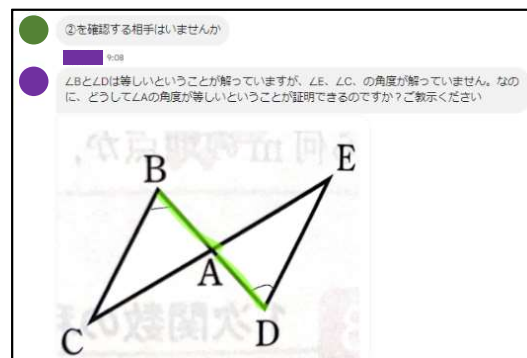
図は学習の手引（スプレッドシート）の一部。縦にスクロールすると各授業の内容が閲覧でき、横へスクロールするとクラスメイトの記述が参照できる。数学科では、達成度の確認と振り返りも併せて「他者参照」できるように工夫している。

② 家庭学習で「習得」を担保する「先行課題」



「習得・活用・探究」の学びの過程の充実を目指し、家庭学習で「先行課題」を促しています。例えば、独自に導入している「スタディサプリ」を活用して知識を習得することで、授業で活用段階の問題に取り組む時間を確保することができます。また、「予習の習慣」を身に付けることで、教師による授業が学習のスタートではなく、受け身の学びから主体的な学びへ転換を図る一手となっています。

③ 生徒によるChatの複線的な活用



Chatの内容が変容してきました。●の生徒は、途中参照を行うために、協働する相手を求めようとしています。●の生徒は、吟味した疑問を図とともに全体に投げかけて解決しようと試みています。生徒たちは、必要に応じて協働的な学習を選択しますが、クラスメイトの学習進度やタイミングを考慮すると、Chatの活用が効率的かつ拡張的に進める手段の1つであることを認知しています。

令和6年1月18日（木）
1日学校公開 開催！

玉野市立荘内中学校 リーディングDXスクール事業の取組

https://www.ednet.tamano.okayama.jp/jhs-shonai/page_20230629071221